雷也豪傑譚

十三篇

一陽斎画
撫下亭作

嘉永二戌春
皆泉堂梓

へ13
3877
7

兒雷也豪傑譚十三編
上

門 へ13
3877
巻 7

赤眉の賊ハ赤本時代黄表帋の頃ハ稗史
盗賊とゝ久ゞ黒将衣ハ五枚草紙
様いあき程るゝしが當世形ゞ寝して彼石川ゞ音と發せ
花の伊達模様袴垂の袴とさえ着て艶郎やゝ偷盗やゝ
ゝ形ゞ流行きさ所と狙て美圖垣大人ゞ画組も艶る義賊の
兒雷也年ゝ歳々評判のゝ作者い替るとも極て當ると前
祝の見張番ゞ的飲めけど賣込數編ハ大丈夫上ゝと他い
讃め光を吹ゝる盗賊ゞ物ゞ年の新著の序文ハ悪ゞ名
ゝ拳ゞ善を勧る一部の大意佳兒達の必讀せん
事を只管ハ冀而已

于時嘉永庚戌正月 柳下亭種員誌

海賊張本
大蛇丸
捨松ガ乳母
於笹
義助ガ妻
越後國
名立濱の
漁夫
義助
松崎ガ僕
穂作ガ
弟子

両雄ダ手下の
衆賊闘戦図

見雷也

児雷也方眼標
大蛇丸方眼標

捨磯紅八

久上風平

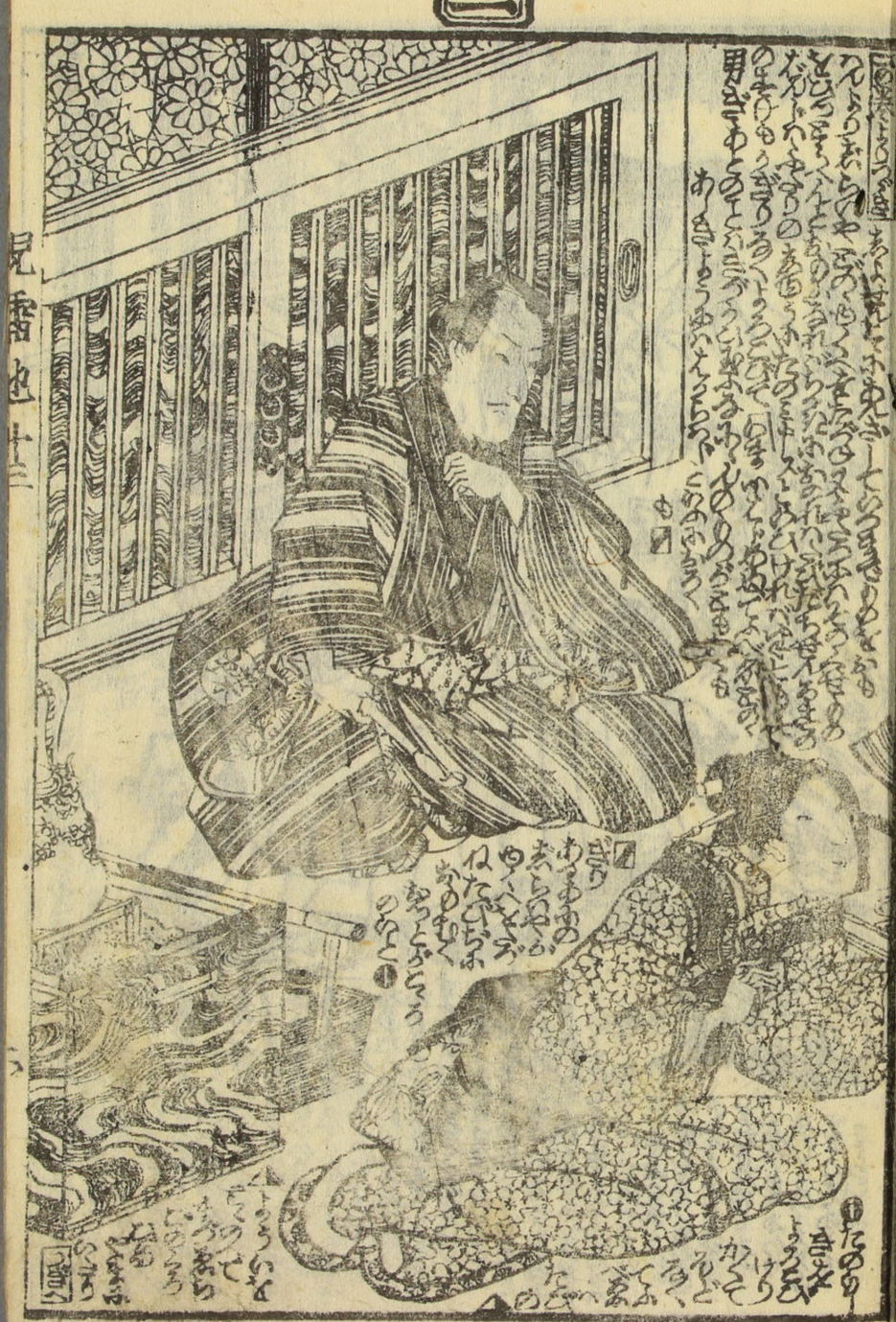
大蛇丸出

夏木陸奥八郎

浮竹八郎八

鷹巣崎九六

偽児雷也尾形弘行
実は大蛇九ゲ手下の
小喰囉
地潜
黒夜叉
永久百首
たちぬるを
衣の紐
ふるにれ
こゝろを
掛てぞ
源髮頭朝臣
越中國立山の
地僊
鼻涕
仙女
勇婦
組手



さどの島
姫を
のむよりも
やまけれ
ども
かからとも
ものぐ
ちも
丸とる
らるもろ
そろひめの山
塞ぬをうぐ
うんとうまうぬさを
きけりさちのまむ
ゆるのひをきう
ゆけのぐむうるゆ
ぬくそ
ぬきまのふくそ
ぬぐ
ぬのれどくえ
ぬるぬーとぬて
ぬうふひぐけて
ぬがまのせふ
のまぬやそひをるもち
ぬるもふ
ぬまれ
ぬひや
ぬの山
ぬの寄
ぬ

つぎの山
つぎの寄
今町

つづき

豐國画○種員作

兒雷也豪傑譚

廿四編 柳下亭種員作
廿五編
廿六編 一雄齋國輝画

嘉永七甲寅新彫略目錄

小女郎蜘怨麻環 三編讀切 馬琴作 國芳画

新編金瓶梅 十編揃 馬琴作 豐國画

小倉百人首 極ざのくらもり 小本壹冊

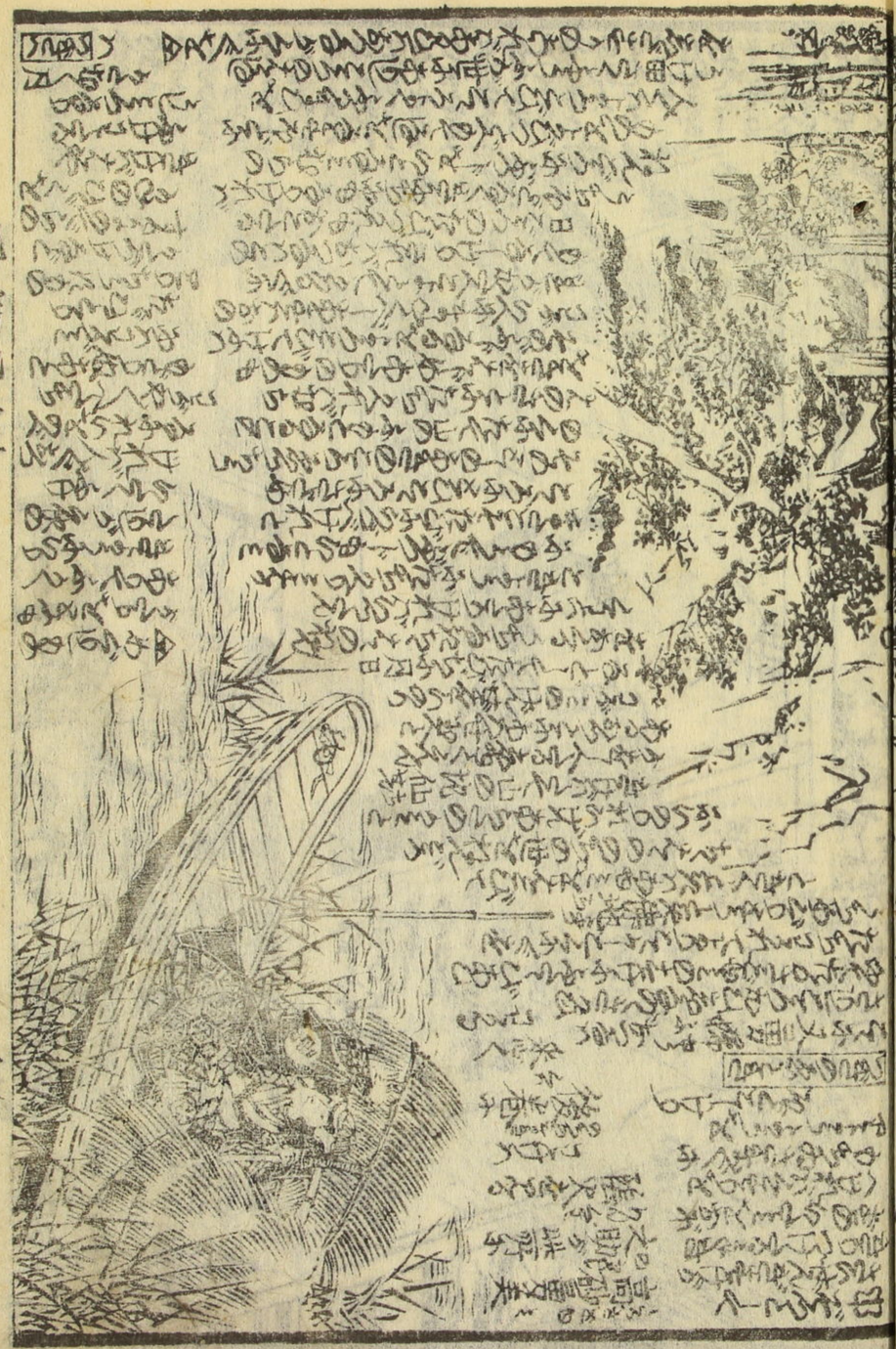
一雄齋國輝画
兒雷也豪傑図
右双色の美紙の摺を初入れ仕彩色の画ものの美しく仕立ゆる
芝神明前
甘泉堂版

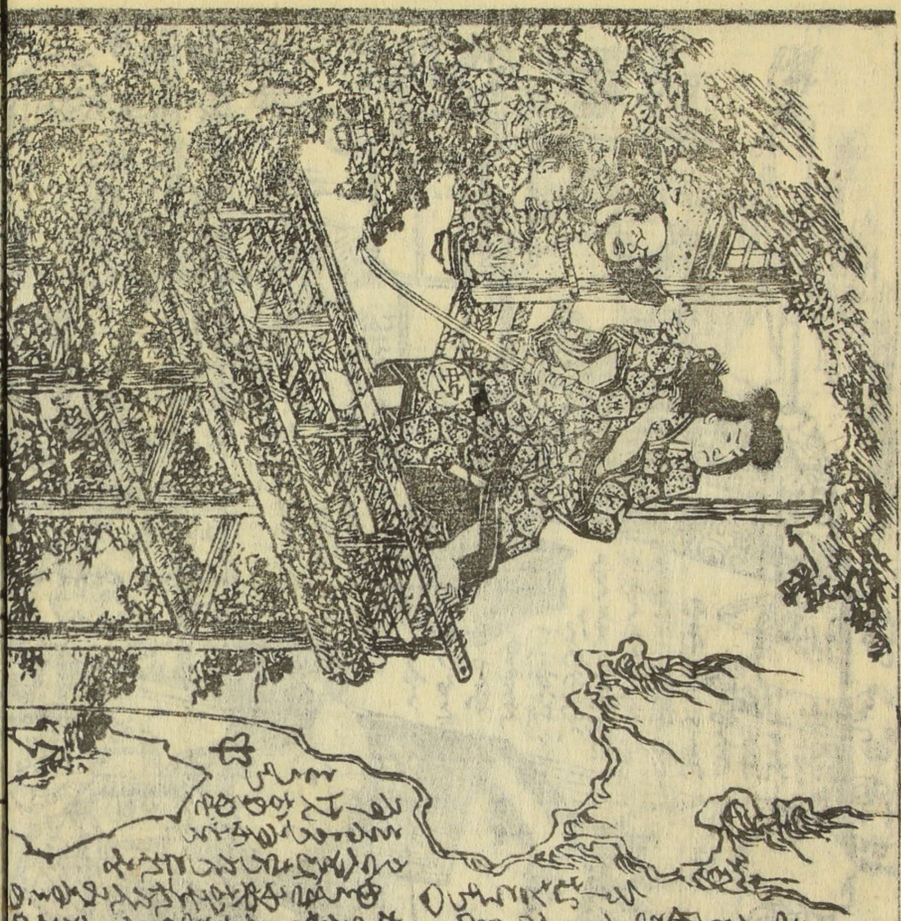
柳下亭種員作
玉堂樣豊國画

甘泉堂梓

下

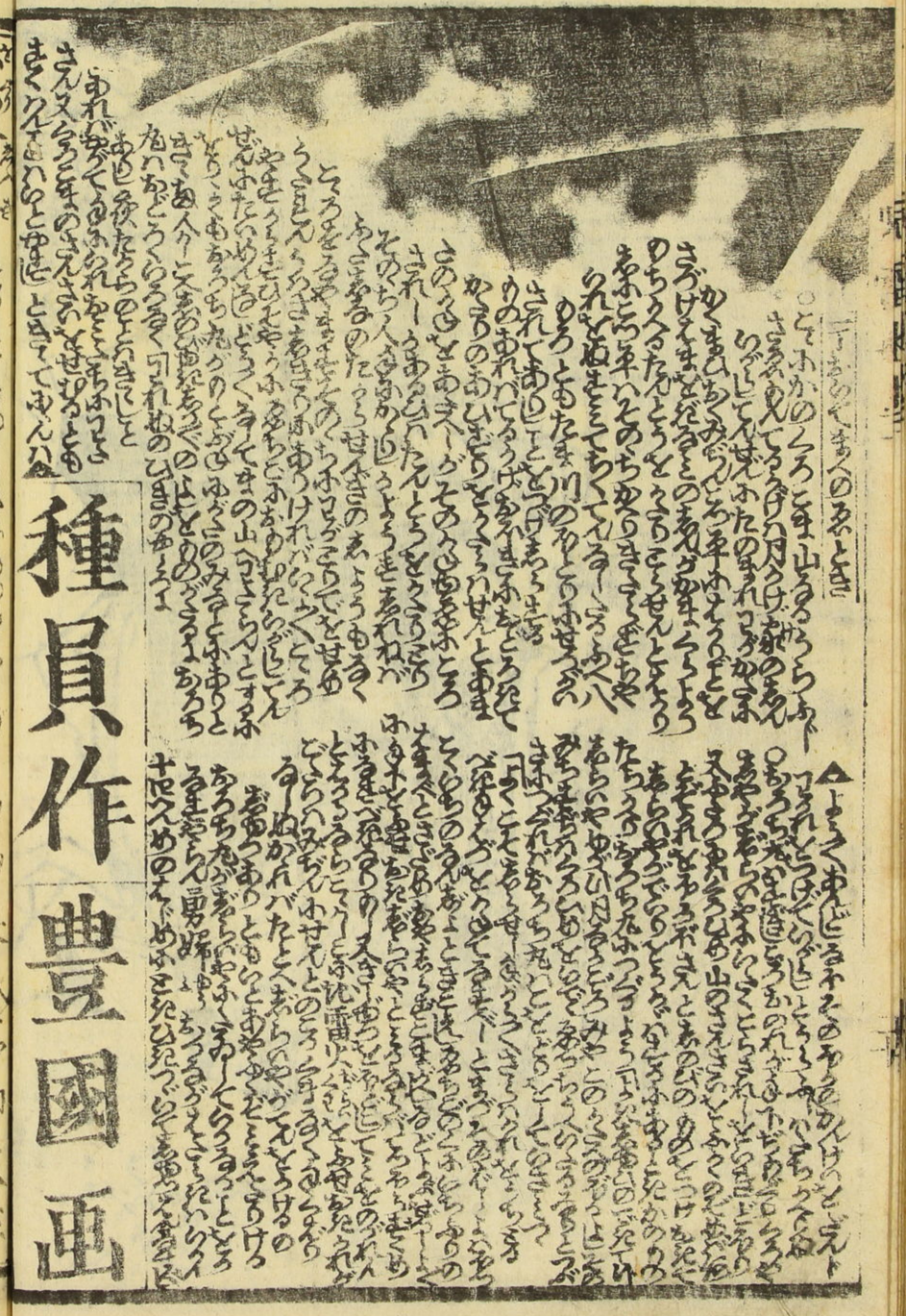
甘永堂棒
下冊





とう野の亜のコケ
一丁あそ
つぎふ
ムの者

十四編目ふわるべき
重但し世所へ出なあ
げゝ看官方に其
趣向を知せまわら
せんあふとゝ作者
が例の拙案を文ら



種員作　豊國画

小栗判官
金沢八景　照天松操月鹿毛　初編　春風亭柳枝作　二編　一雄齋國輝書

風俗淡間嶽　初編二編　種久作　種員校合　國貞画

黄金水大盡盃　爲永春水作　初へん　二ゑん　三編　一壽齋國貞画

地本草紙問屋　芝神明前　甘泉堂　和泉屋市兵衛板

假名反古　一休草紙　五編六編七編出板　柳下亭種員作　一雄齋國輝画

新下亭秀重作

蝦蟆妖術 巨蟒怪異 児雷也豪傑譚

第十四編上

柳下亭種員作

一陽齋豐國画

嘉永三戌 春彫板

甘泉堂梓

怎麼黒姫と号る山信越二国の間に聳あり然も間遠くして信濃国の水内郡赤川の湖と対峙ふして越後国頸城郡大明神峠に連綿彼国関川の駅に最近し扨又越後の黒姫山川の駅に最近し扨又越後の黒姫山に羽郡の内にあり松山の西八方に岩嶺漬なれば相隔ること十余里ふ不過無巻中小兒雷也が山塞とするのは則越後の方なりけり越路の地理は説るべき筆の有るも條少は殆述て筆のあるも難所多彼親不知駒返磯辺の嚴ふ清の富とかも幸先と市振の濱の間間解話と見給へ

嘉永庚戌王月柳下亭種員記

五十嵐曲膳
濱荻陸三郎
児雷也
雨夢

月影家の奥女中
関屋

於強ゞ女
小園

風玲乃おちく　晋　其角

海賊の首領
大蛇丸

蜘蛛の
道成寺

月影家の令室
田毎の前

男禁制

女義賊
照紅
田毎

之助

男
高砂
美

豊國画

種員作

浄書 金川

嘉永六年癸丑孟春新雕

假名文古 **一休草紙**

三編より五編を書き和遠出板仕イ

柳下亭種員作
一雄齋國輝画

初編八一休の和尚母を孝貞ふかく法師結内かやぐらの五和尚正法が義帝の為ふかく孝心の儀と尊侯八 二編ふ
乃びとふ前一生生中一中幼きの飛客元ふ 三編ふ
五てハ別屋内ふ宗純義史の流者と説 四編 五編 ち
つゞいて尚年ふ[illegible]ハ[illegible]の基ふ[illegible]
所助乳母の一路若さ[illegible]の杯と拳世[illegible]例一休物語ハ[illegible]
て続く面白く耳ふれざる語のことつゞり合[illegible]七編ふ使ふ[illegible]
世一らんの上ハ言浮者新上

板元敬

芝神明前 甘泉堂 和泉屋市兵衛板

一陽齋豐國画
児雷也
十四篇

児雷也豪傑

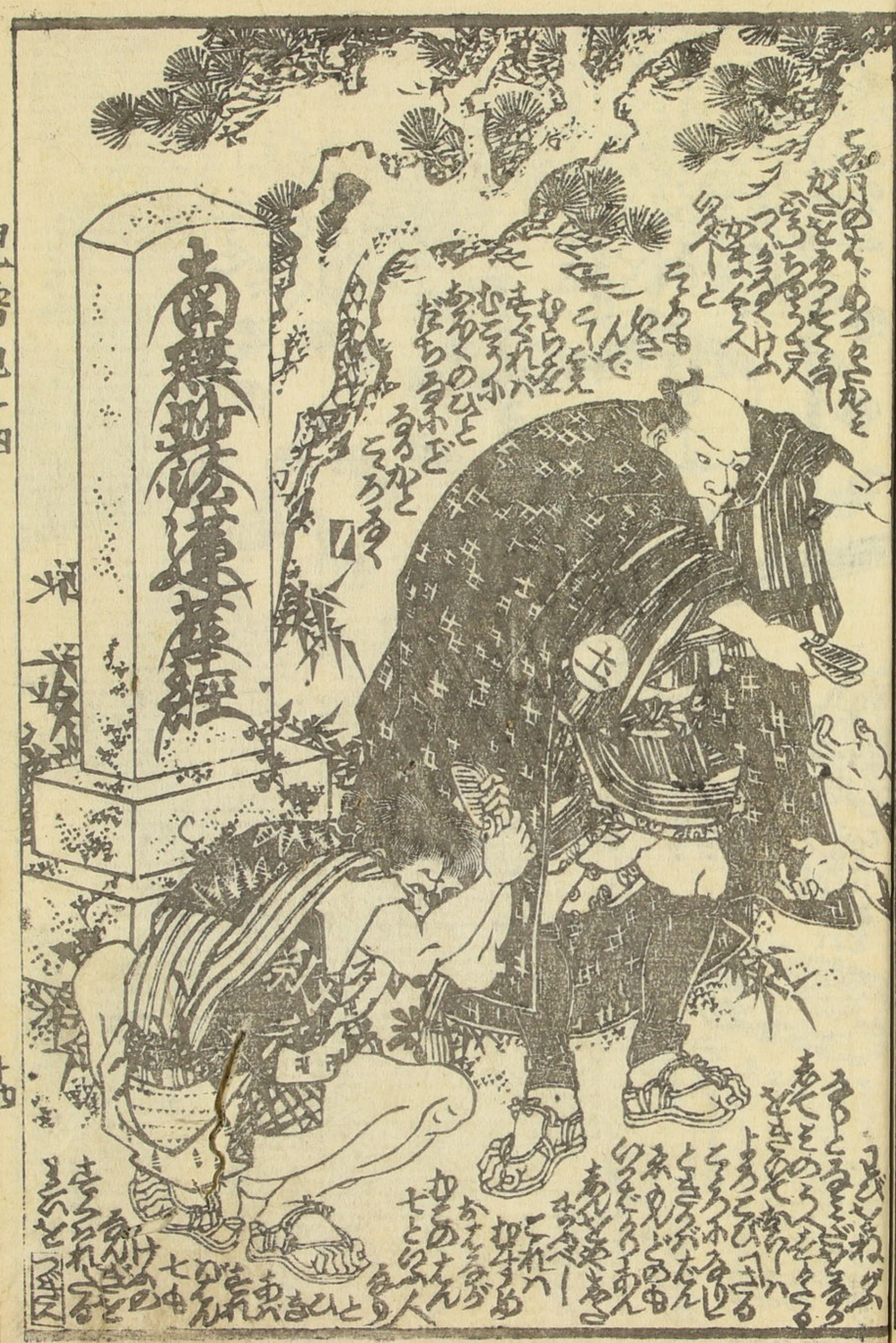
成長秋板

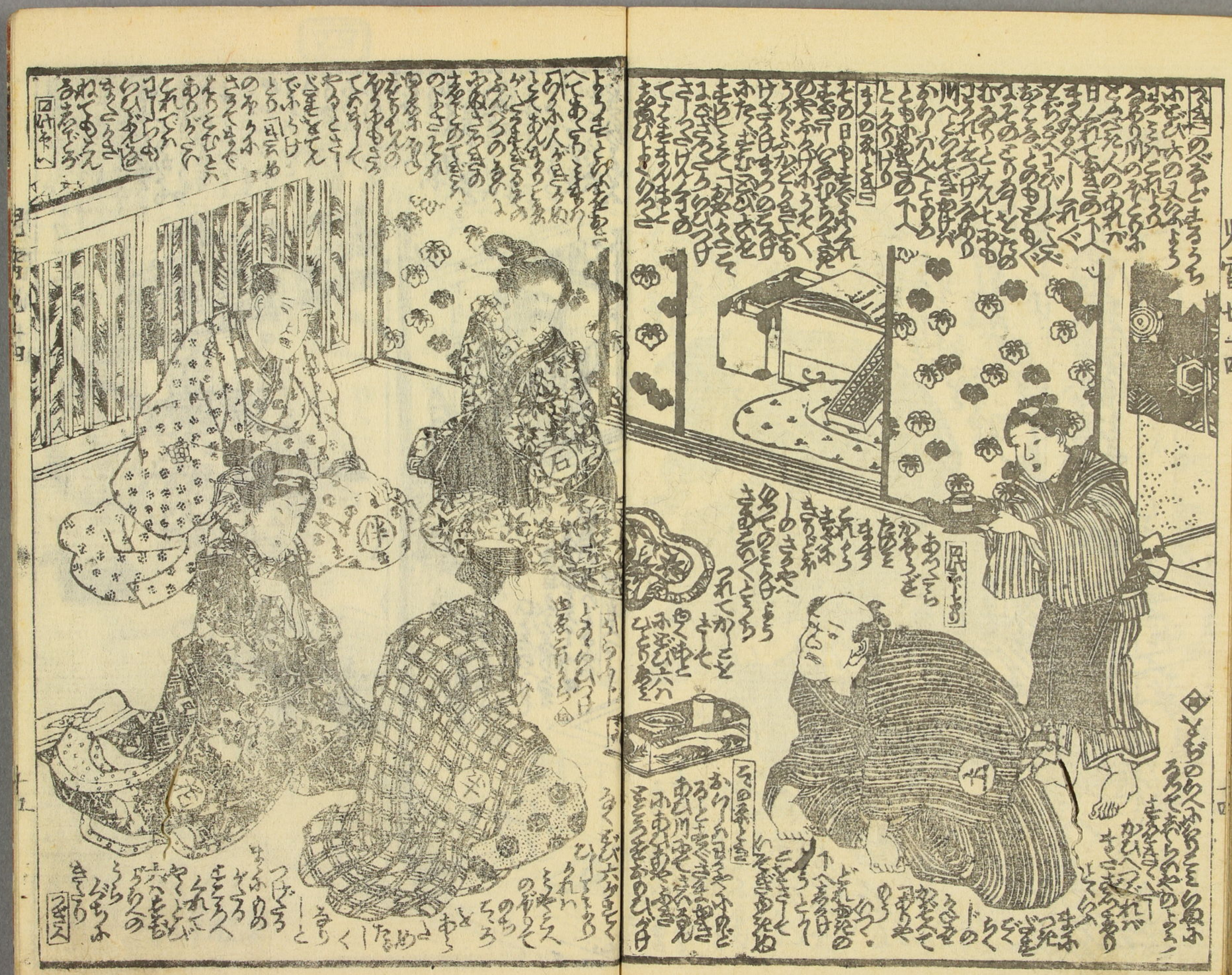
歌川豊国画

甘泉堂蔵

開帳
江嶋之宮本尊天
寿十月紀亥宝参
上之坊執事
是より江嶋へ
池き合川

休憩

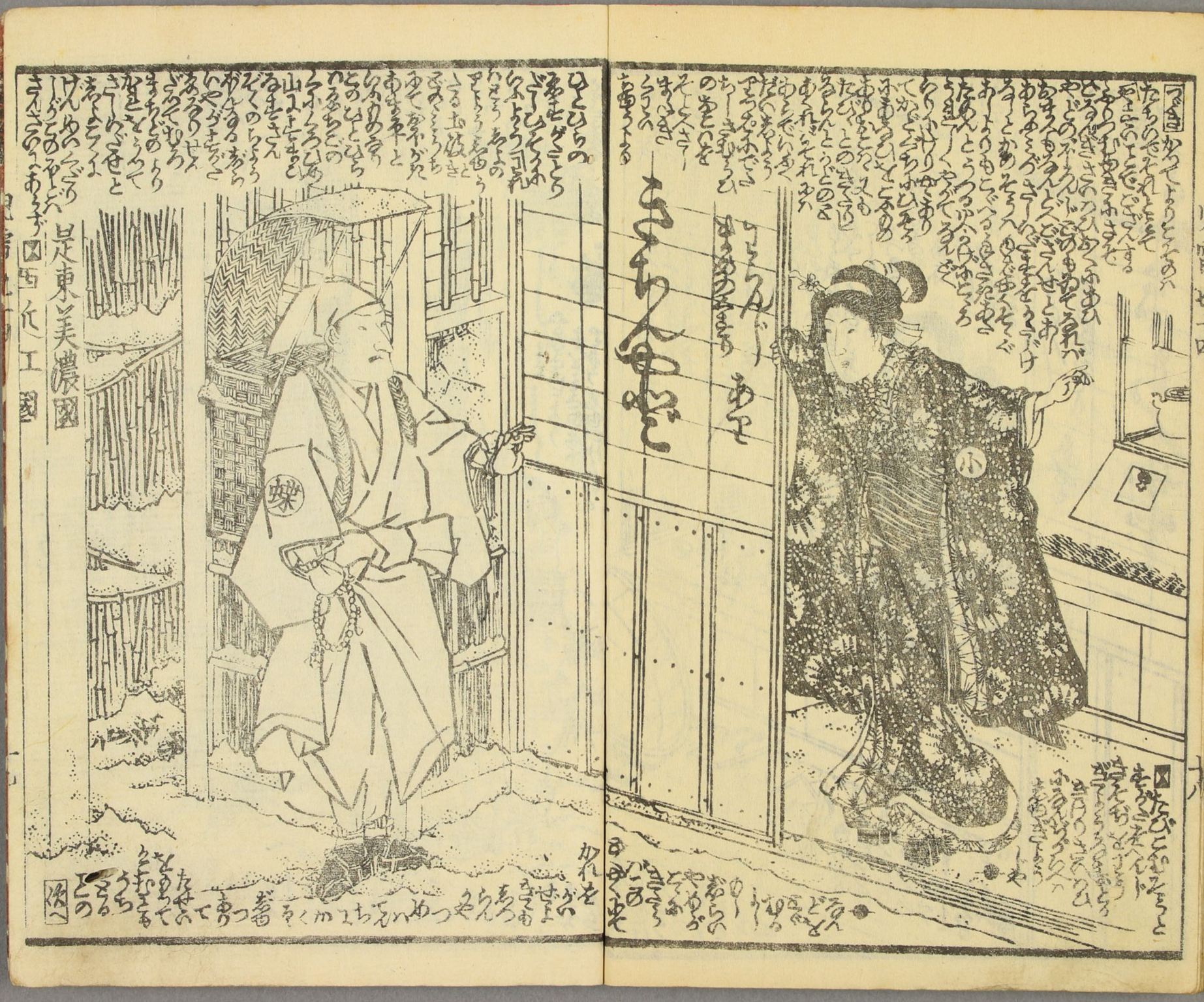

南無妙法蓮華經

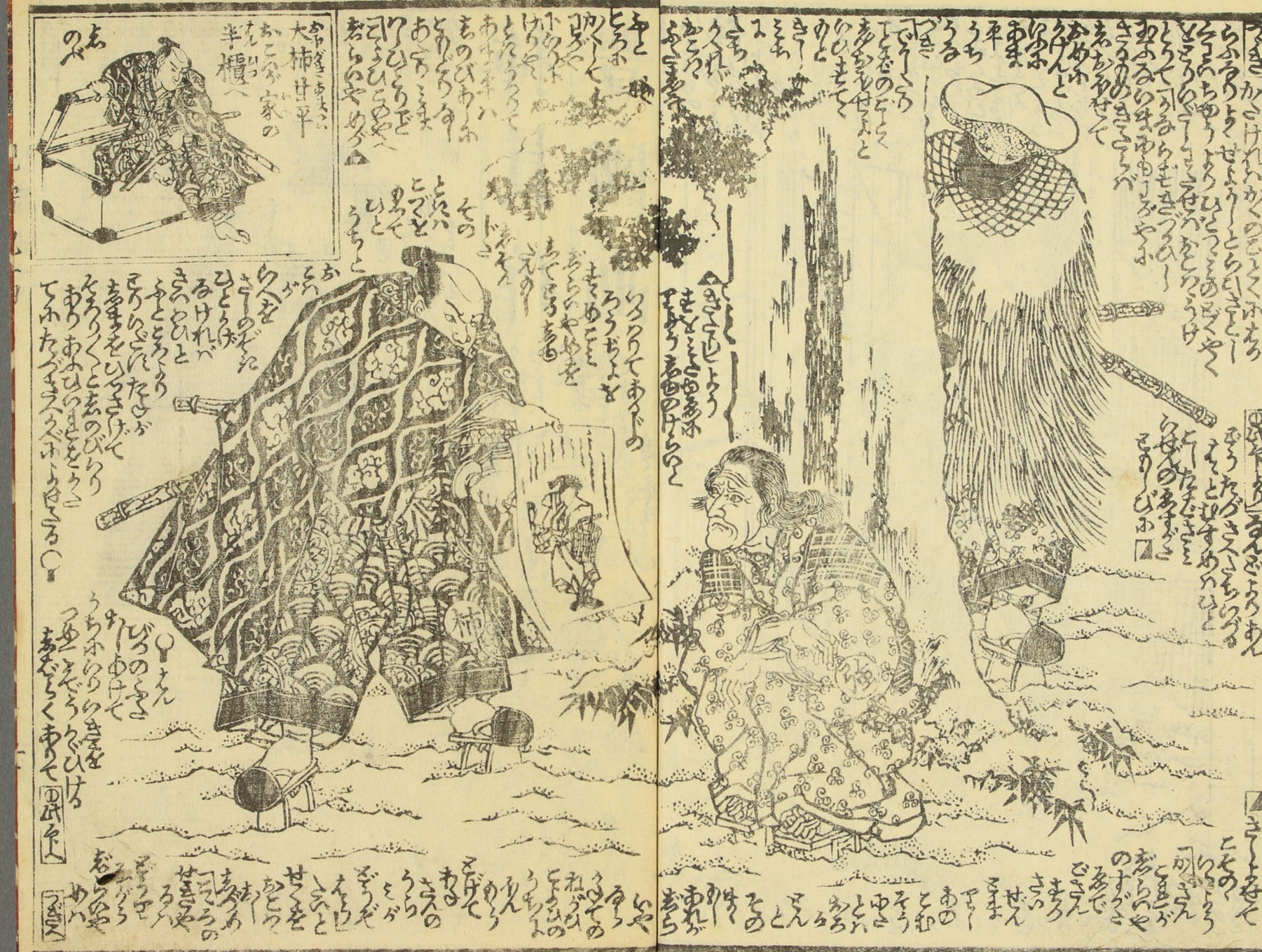


小

つゞき
ちんもく
あつ
陸
従是東美濃國
従是西近江國

児
強


是東美濃國


柿
大柿甘平
おこの家の
半櫃へ
右の

種員作
豊國画

嘉永六年癸丑孟陬發市標目

兒雷也豪傑譚 廿一篇 柳下亭種員作 廿二篇 廿三篇 一雄齋國輝画

笠亭仙果作
今業平昔面影 六篇 七篇
一猛齋芳虎画

柳作
祥瑞白菊物語 五篇 六篇
緑亭川柳作
錦朝横芳虎画

新編金瓶梅全輯 自初編至十編 曲亭馬琴翁作 大尾 一陽齋豊國画

書肆甘泉堂芝神明前 和泉屋市兵衛版

兒當也豪傑譚

十四篇

甘泉堂梓

種員作
豐國画

嘉永
三戌春